

令和6年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第4講座を開催して】

9月9日（月）、美東センター大ホールにおいて、令和6年度美祢市人権教育ふれあい講座（第4講座）を開催しました。

『性の多様性に関する問題』をテーマとして、結愛ネット協議会 会長 塚田 拓司（つかだ たくじ）氏から、「あなたも大切、私も大切～ほめることから始めてみませんか～」と題して、御講演いただきました。



私たちが日常的に用いる「言葉」に込められた思いを大切にされている御講演や落語は、聴いている私たちの心にスッと入ってきて、笑いと感動と学びのある、あっという間の90分間でした。相手のことを認め、思いやることで生まれる、温かい言葉のやり取りがあらわれる美祢市を目指していきます。

【受講者の主な感想】

- 初めて塚田先生の落語を聞きました。大切なことはしっかり話を聞くこと。ちゃんと知識を得ること。再確認させられました。ありがとうございます。
- 講座の最後のまとめがわかり易く、取組事例も参考になった、性の多様性を認める環境づくりが大切だと感じた
- とても楽しい時間でした。講座の本来の内容については少し短めでしたが ずっとこのテーマに沿ってだと却って息苦しかったかも。このテーマについて実は私は中々理解できません。もし自分の子供がそう告白した時私はどうするだろうか？答えは出ません。
- 落語の中にも人権に関わる内容がたくさんありました。理不尽なことをされていると思っていても、自分も誰かに同じような理不尽なことをしているかもしれません。性の多様性についても人として自然に接することができたらよいと思います。
- 塚田拓司先生の言葉の大切を織り込んだ落語楽しませていただきました。性の多様性の問題は、なかなか奥の深い問題だと思います。まず直面した時は、話を聞き寄り添うからということ学びました。
- 落語とても聞きやすく、話が面白かった。性の多様性に関する問題も色々話を聞いて、勉強に

なりました。

- 落語ということで、笑いがある中で「言葉」やコミュニケーション、立場等自分に置き換えながらお話を聞くことができました。
- 悪い意味で自分も他人と同じにならない様、言葉や対応に気を付けたいと思いました。
- AU3S、普段から使っているようで、思い返すとなかなか言葉として発していないなと改めて感じました。心にとめて言えるように心がけます。
- 企業の取組にだれでもトイレ・だれでも更衣室というものがあったが、私たちの常識を変えることから偏見がなくなると思う
- 落語ですんなり頭にはいつてきた。面白すぎでした
- 感動ある研修会でした。